

自分の先祖をたどるサポート 日系文化センター・博物館提供 ファミリーヒストリー：ワン・オン・ワン

「自分のルーツを知りたい」「子孫に家系図を残したい」。そんな思いに応えて日系文化センター・博物館は、日系カナダ人家族の歴史調査のガイドとサポート「ファミリーヒストリー：ワン・オン・ワン (Family History: One on One)」を実施している。形式はオンラインでの対面個人セッション。担当は公文書、古文書の資料管理・調査の専門家であるリサーチ・アーキビスト歴40年のリンダ・カワモト・リードさんだ。

セッション前を始める前に

リンダさんは事前に利用者に「どの先祖の歴史を調べるのか」といった目的・目標を確認すると同時に各種資料を利用者にメールで送付する。資



家系調査を通じて先祖の人生に思いを馳せてみてはどうだろうか
(写真提供：日系博物館「An Outdoor Group Portrait of the Kawamoto Family; Port Hammond, BC」)

www.thefraser.com

料は調査前の予備知識、家系調査時のチェックポイント、家系調査に有益な情報源、日本の古い戸籍の見方、和暦年号の一覧などで、日本にルーツを持つ家系調査の有力なサポート情報だ。

家系調査の難関とサポート

セッション当日の内容は個々のニーズによってさまざまだが、「事前に利用者から質問が寄せられている場合は、一つ一つ質問に回答する形で進めていきます」(リンダさん)。

日系カナダ人の家系調査での最大の難関は戸籍謄本の取得である。そのためリンダさんはこう強調する。「できるだけ親戚縁者に声をかけて、日本語で書かれた書類を探してくれるよう頼んでくだ

さい」。もしそこから戸籍謄本が見つかれば、調査はぐんと前進する。だが戸籍謄本が見つからなくても手立てはある。必要資料を揃えることで同館を通じて日本から戸籍謄本の入手の手続きが可能だ。

だがそもそも戸籍謄本取得に必須な調査対象者の漢字氏名が不明な場合もある。そんな場合に有効なのが同館所有の資料である。例えば800

Japanese Residing in Canada』(1929年発行)には、カナダに移住した日本人の出身地や子どもの氏名の記録があり、漢字の氏名も併記されている。「漁師には漁師関係の記録があり、オカナガンのケロウナやバーノンに居住していた日系移民であれば、その地域の名簿があります。同館所蔵のこうした資料や多くの自伝も家系調査に役立ちます」

また家庭からアクセスできるデータベースとして有用なのはウェブサイト Ancestry.ca だと言う。「アンセストリーでは世界の人々の出生届け、死亡届けの情報等を、無料会員でも2週間検索できます。同館はアンセストリーの年間会員のため、セッションの場でお調べすることもあります」

日系カナダ人の歴史資料に精通

リンダさん自身は厳しい人生を歩んだ自分の日本人の先祖への興味関心から、看護師という本職の傍ら、ジェニオロジ (系譜学) の勉強を開始し、資料を集めや調査を行い、日加を結ぶデータに精通していったという。最近では本セッションの申し込みがカナダ全土の若い世代から増えていることを喜んでいる。「とてもこの仕事を楽しんでいます」と語るリンダさんとのセッションからは、家系調査の醍醐味が伝わってくることだろう。(＊セッションはすべて英語で実施)。

(取材 平野香利)